

物流部会（第6回）

— サプライチェーン経営の高度化に向けた情報交換 —

開催
日時

2026年 10月21日（水）
15:00～18:00（予定）

※終了後、懇親会を予定しています。（会場参加者のみ）

会場

大手町プレイスホール&カンファレンス
東京都千代田区大手町二丁目3番1号 大手町プレイス

最新動向や事例の共有にとどまらず、各社が抱えるサプライチェーンのBCP課題（自然災害・供給途絶・物流停滞等）について、「有事にどう備えるべきか」「どのような意思決定が求められるのか」をテーマに議論します。

内容

- ◆ 災害・供給リスク発生時の影響予測と可視化
- ◆ デジタルリハーサルによる事前シミュレーション事例
- ◆ BCP強化に向けた意思決定・対策立案の考え方
- ◆ 物流課題への適用可能性を議論する意見交換会

スケジュール

第5回

7月8日
（水）

第6回

10月21日
（水）

第7回

1月14日
（木）

開催形式・プログラム

開催形式

対面＋オンライン（Teams）

対象

Fujitsu ユーザーコミュニティ会員

- ・ サプライチェーンのBCP強化を検討されている方
- ・ 自然災害や供給途絶リスクへの備えに課題をお持ちの方
- ・ 物流・在庫・調達領域のレジリエンス向上を目指している方
- ・ 他社の取り組みや有事対応事例を共有したい方
- ・ 異業種との情報交換・共創に関心のある方



内容
（予定）

近年多発する自然災害や地政学リスクを背景に、サプライチェーン全体の強靱化が求められています。本部会では、物流・調達・在庫・供給網におけるリスクへの備えと事業継続をテーマに、各社の課題や取り組みを共有します。
また、リスク発生時の影響可視化やシミュレーション技術の活用事例を紹介しながら、「有事にどう判断するか」「平時から何を準備すべきか」について議論します。参加企業同士の意見交換を通じて、自社のBCP高度化につながるヒントを探ります。

申込

<https://forms.cloud.microsoft/r/duaNYT079w>

[申込締切] 2026年10月16日（金）



プログラム

※プログラムの内容や時間に一部変更が生じる場合がございます。あらかじめご了承ください。

14:40～

会場オープン（14:50 オンラインオープン）

オープニング

開会挨拶、事務局より施策の説明

15:00

情報提供15:10-15:40

「デジタルリハーサルによるレジリエントサプライチェーンの実現」
富士通

情報提供15:40-16:10

災害多発時代のロジスティクスマネジメント
ー 必要なモノを必要な場所に供給し続けるためのレジリエンス強化のあり方と実践
株式会社ローランド・ベルガー パートナー 小野塚 征志 様

テーブルディスカッション

17:30

終了

17:30～
18:00

ネットワーキング（懇親会）

自由な会話を楽しみ、交流をしていただくお時間です。
（名刺を持参ください）

会場アクセス

■ 会 場：大手町プレイスホール&カンファレンス 102
東京都千代田区大手町二丁目3番1号大手町プレイス（イーストタワー）

ご案内



【講演者プロフィール】

小野塚 征志 氏 株式会社ローランド・ベルガー シニアパートナー

慶應義塾大学大学院修了後、富士総合研究所、みずほ情報総研を経て現職。物流・サプライチェーン領域を専門とし、物流戦略、共同配送、サプライチェーン改革、フィジカルインターネット、物流DX、事業変革など幅広いテーマで企業支援を行う。

また、経済産業省「物流小委員会」、国土交通省「総合物流施策大綱に関する検討会」、フィジカルインターネット実現会議などの委員を歴任し、日本の物流政策や業界変革にも深く関与。

近年は、物流2024年問題や輸送力不足への対応、共同配送・標準化・物流データ連携をテーマに講演や執筆活動を多数実施。著書に『ロジスティクス4.0』『ロジスティクスがわかる』『サプライウェブ』『DXビジネスモデル』などがある。

【講演概要】

日本では、水害や地震などの自然災害の発生が頻発化し、その被害も甚大化しています。こうした環境下であればこそ、有事であっても必要なモノを必要な場所に供給し続けることは極めて重要です。商品を生産・販売するメーカーや流通事業者はもちろんのこと、物流事業者やそれらを支えるIT企業にとっても、サプライチェーン全体のレジリエンスを強化することは重要な経営課題であるといえるでしょう。本講演では、先進企業の取り組みを紹介しつつ、災害多発時代に求められるロジスティクスマネジメントのあり方と実践方法を解説します。

